

みずほCustomer Desk Report 2018/09/05号(As of 2018/09/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.09
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.09	1.1614	128.97	1.2866	0.7206
SYD-NY High	111.54	1.1624	129.19	1.2874	0.7236
SYD-NY Low	110.90	1.1531	128.32	1.2810	0.7158
NY 5:00 PM	111.49	1.1580	129.10	1.2854	0.7175
NY DOW	25,952.48	▲ 12.34	日本2年債	-0.1200	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,091.25	▲ 18.29	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,896.72	▲ 4.80	米国2年債	2.6513	2.44bp
日経平均	22,696.90	▲ 10.48	米国5年債	2.7728	3.54bp
TOPIX	1,718.24	▲ 2.07	米国10年債	2.8976	3.82bp
シカゴ日経先物	22,715.00	▲ 110.00	独10年債	0.3560	2.30bp
ロンドンFT	7,457.86	▲ 46.74	英10年債	1.4275	2.35bp
DAX	12,210.21	▲ 136.20	豪10年債	2.5015	0.30bp
ハンセン指数	27,973.34	260.80	USDJPY 1M Vol	6.82	0.14%
上海総合	2,750.58	29.85	USDJPY 3M Vol	7.32	0.09%
NY金	1,199.10	▲ 7.60	USDJPY 6M Vol	7.71	0.01%
WTI	69.87	0.07	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	192.12	▲ 0.83	EURJPY 3M Vol	9.06	0.03%
ドルインデックス	95.44	0.30	EURJPY 6M Vol	9.33	▲ 0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月4日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.50%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	8月	54.7
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月	0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月	61.3

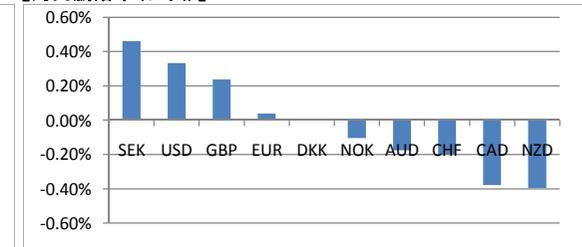
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月5日	10:30	豪 GDP(前期比/前年比)	2Q	0.7%/2.9%
	10:45	中 CaixinPMI(サービス業/コンポジット)	8月	52.6/-
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	8月	55.2/55.7
	17:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	8月	54.4/54.4
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	7月	-0.1%/1.3%
	21:30	米 貿易収支	7月	-\$50.2B
	22:20	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演		-\$46.3B
9月6日	5:00	米 カンシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.90-111.90	1.1550-1.1650	128.50-129.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ではドルが上昇。社債の発行が相次いだことに加えて、ISM製造業指数が61.3と予想を大きく上回ったことなどから、米金利は上昇し、米10年債は一時2.9%を越える展開に。また、引き続き新興国に対する懸念が根強い中、質への逃避からドルは買われやすい展開となり、ドルは底堅く推移。引き続き、貿易摩擦問題に対する不透明感が高いことや金曜日には米雇用統計を控えていることもあり、慎重なスタンスを継続する参加者が多いことを想定し、本日はレンジ内での値動きを予想。

東京	東京時間、111.09レベルでスタートしたドル円は日経平均株価がオープン直後から下落する展開に安値110.90まで下落。しかしながら、111円を割り込むレベルでは相応に買い意欲も強く、直ぐに111円台まで買い戻された。その後は方向感のない推移が続くも、豪中銀から金融政策が発表され、豪中銀から同国経済に対し親親的な発言がなされると、豪ドルが上昇。クロス円の上昇にドル円も押し上げられ、結局111.39レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.39レベルでオープン。序盤は全般的にドルが強含む中、111.54まで上昇。111.24レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2844レベルでオープン。輸出受注の減少から英8月製造業PMIが25ヶ月ぶりの低水準(52.8)に低下したことに続き、発表された英8月建設業PMIも予想(54.9)を大幅に下回り、52.9に悪化したことから下落。ハルニエEU首席交渉官が離脱後の英国との貿易について、首相公式別荘「チェッカーズ」で閣内合意に至った英通商協定案よりも「カナダプラス」型が好ましいと発言したことも売り材料となり、1.2815まで下落。1.2834レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で豪ドル円の上昇に連れ高となったことや、欧州時間に特段ニュースが見当たらない中ドル買いが優勢となったことから、高値111.54まで上昇したドル円は、111.24レベルでNYオープン。NY朝方は海外市場で強まったドル買いが継続し111.43まで戻すが、リスク回避の円買いに111.14まで反落する。しかし10時に発表された米8月ISM製造業景況指数が予想を上回り、構成指数の雇用も前回から上昇したことから、今週末の米雇用統計に対する期待も強まり、111.50まで反発。NY午後に入り株式市場が下げ渋り、ドルが売り戻される展開にドル円はやや下押しする局面もあったものの、クロス円の買いに111.51まで戻し、111.49レベルでクロスした。一方、ユーロはサルベニ・伊副首相が財政赤字をEUの上限以内に設定する方針を示したことから一旦下げ渋ったものの、その後はドル買いが優勢となったことから、先週の安値1.1585を割り込み1.1550まで下落し、1.1559レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続したことに加え、良好な米ISM製造業景況指数結果を受け、安値1.1531まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲もあり、株式市場が下げ渋る中1.1585まで戻す。午後は、狭いレンジでの推移が続いたが、終盤に1.1589まで戻し、1.1580レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 百瀬・田家